

2018年2月4日岡山県歯科医師会会館

口腔がんについて
—岡山県の現状と当科の取り組みついて—

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
病態制御科学専攻 腫瘍制御学講座
口腔顎顔面外科学分野
岡山大学病院 口腔外科(病態系)

佐々木 朗



岡山大学



講演の内容

1. 口腔がんについて
2. 岡山県の口腔がんの実態
3. 当科の口腔がんの症例
4. 岡山県内の連携病院及び連携の状況

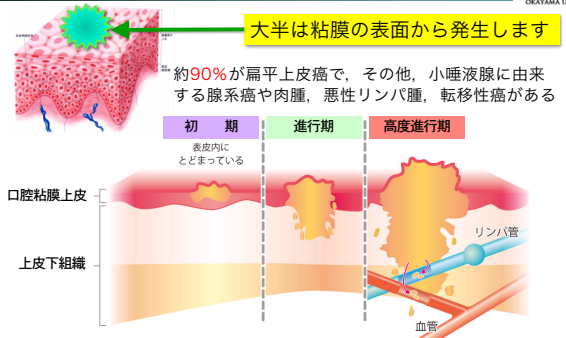
講演の内容

1. 口腔がんについて
2. 地域（岡山県）の口腔がんの実態
3. 当科の口腔がんの症例
4. 岡山県内の連携病院及び連携の状況

口に出来るがんの多くは扁平上皮癌

大半は粘膜の表面から発生します

約90%が扁平上皮癌で、その他、小唾液腺に由来する腺系癌や肉腫、悪性リンパ腫、転移性癌がある



初期：表皮内にとどまっている
進行期：粘膜を浸潤（周囲へのひろがり）
高度進行期：リンパ管・血管を侵襲し、転移（遠くの臓器に散ってゆく）

発育様式により3つのタイプがある



内向性増殖 指で触ると硬いしこりがあり、異常がわかる



表在性増殖 白板症にやや硬結を触れる



外向性増殖 比較的初期の所見

講演の内容

1. 口腔がんについて
2. 地域（岡山県）の口腔がんの実態
3. 当科の口腔がんの症例
4. 岡山県内の連携病院及び連携の状況

がんの疫学 (国立がんセンター：がん対策情報センター)

- 2015年の全がんの予測罹患数は約**98.2万例**（男性56万例、女性42.2万例）。2014年の（88.2万例）と比較すると、男女計で約10万例罹患者が増加。
- 2015年の予測がん死亡数は、**37万人**（男性21.9万人、女性15.2万人）。
- 2014年と比較すると、約4,000人の増加。
- 大腸、肺、胃、前立腺、乳房（女性）の順にがん罹患数が多い。
- 部位別の順位を2014年のがん統計予測（胃、肺、大腸、女性乳房、前立腺の順）と比較すると、大腸が胃と肺を抜いて第1位に、前立腺が女性乳房を抜いて第4位になった。
- 口腔がんの罹患患者数は、年間**7,000~10,000人**程度。（約1~2%）

口腔・咽頭癌

	全体	男	女	
2015年予測（罹患患者）	19,500	2%	13,000	6,500
2015年予測（死亡者）	7,400	1.9%	5,200	2,200
2014年予測（罹患患者）	19,500	3%	13,000	6,500
2014年予測（死亡者）	7,415		5,268	2,147

岡山県の口腔がん患者について

口腔がんに特化したがん登録制度は今年からスタート

がん罹患患者数	岡山県人口	日本の総人口	口腔がんの罹患率	口腔がん患者数（推定値）
70万	197万	12700万	0.01	109人
100万	197万	12700万	0.01	155人

口腔・咽頭癌（死亡予測数より罹患患者数を算定）
 $126 \times 19500 / 7400 = 332$ 名 **口腔がん罹患患者数は120~150名程度？**

都道府県	性別	年齢	部位	数	率（人口10万対）	人口
2016 全国	男性	全年齢	口唇、口腔及び咽頭	5,396	8.736	61,766,000
2016 岡山県	男性	全年齢	口唇、口腔及び咽頭	85	9.249	919,000
2016 全国	女性	全年齢	口唇、口腔及び咽頭	2,279	3.497	65,167,000
2016 岡山県	女性	全年齢	口唇、口腔及び咽頭	41	4.116	996,000

がん情報サービス（国立がん研究センター）
 口腔がん治療は口腔外科ならびに耳鼻咽喉科（頭頸部外科）で扱っている。
 口腔外科では、岡山大学病院、川崎医科大学、広島県境（岡山県西部）では、福山市民病院、北部では、津山中央病院（早期がんに関して）などがある

岡山県人口分布2016年

推計人口：1,927,632人
 政令指定都市：岡山市（4区）
 中核市：倉敷市

岡山-倉敷 電車で15分程度

岡山県のがん診療

岡山県がん診療連携拠点病院

- 岡山大学病院
- 地域がん診療連携拠点病院
- 岡山済生会総合病院
- 津山中央病院（陽子線センター）
- 岡山医療センター
- 川崎医科大学病院
- 地域がん診療病院
- 高梁中央病院
- 高梁中央病院
- 金田病院
- がん診療連携推進病院
- 岡山労災病院
- 岡山市立市民病院
- 川崎医科大学附属川崎病院
- 倉敷成人病センター
- 福山市民病院（広島県）
- 香川県立中央病院（香川県）

講演の内容

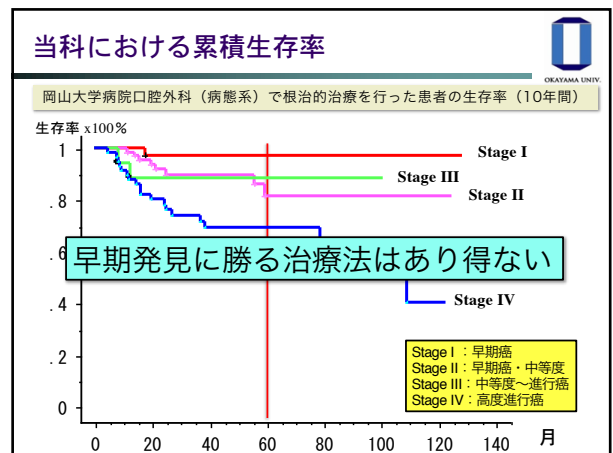
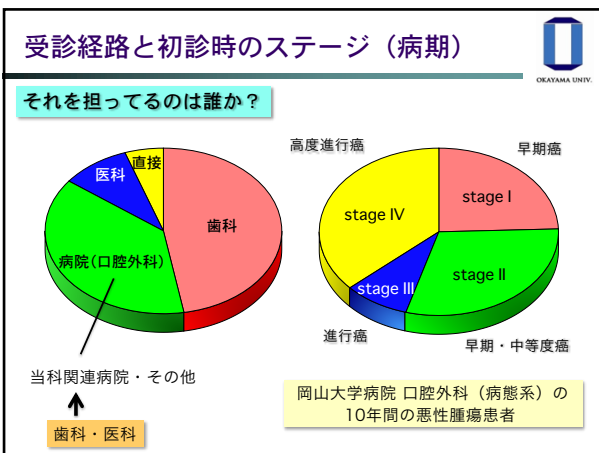
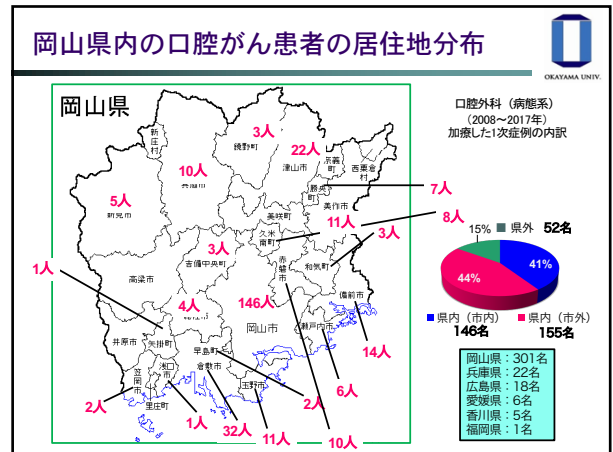
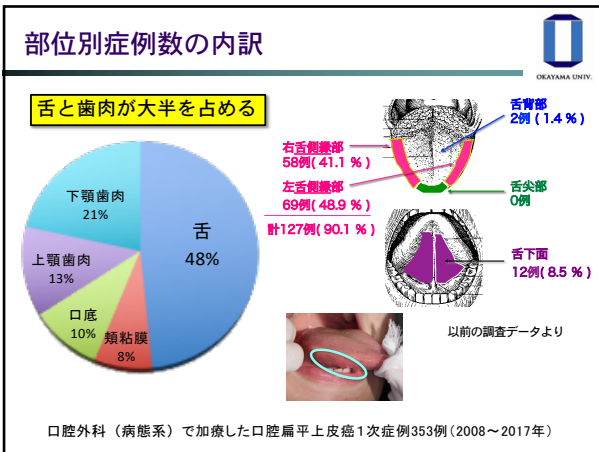
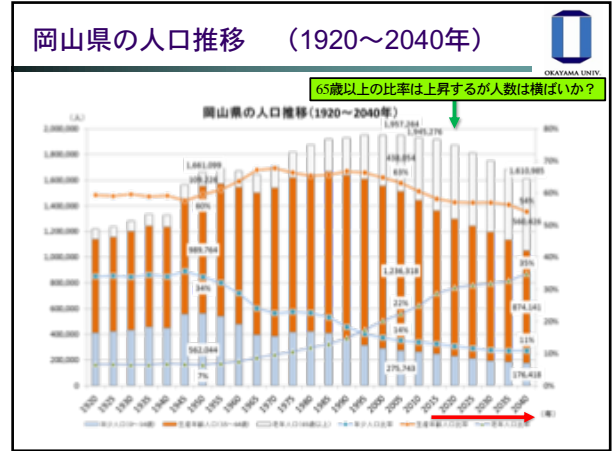
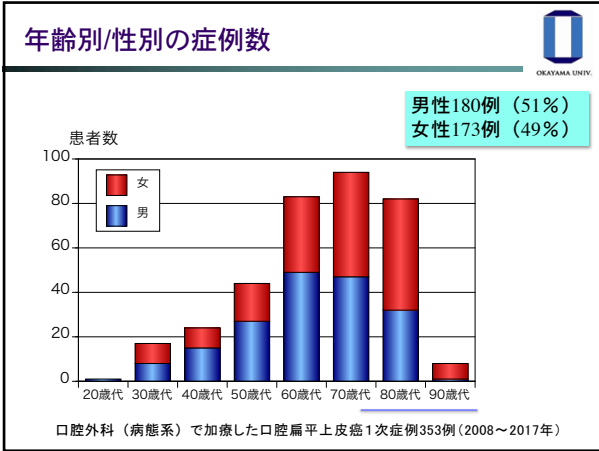
1. 口腔がんについて
2. 地域（岡山県）の口腔がんの実態
3. 当科の口腔がんの症例、治療
4. 岡山県内の連携病院及び連携の状況

年別ならびにステージ別症例数

当科を受診した悪性腫瘍患者495例中、口唇癌、悪性黒色腫、唾液腺癌、悪性リンパ腫、転移性癌、姑息治療を除いた口腔癌353例。

Stage I：早期癌
 Stage II：早期癌・中等度
 Stage III：中等度～進行癌
 Stage IV：高度進行癌

口腔外科（病態系）で加療した口腔扁平上皮癌1次症例353例（2008～2017年）



口腔癌の治療について

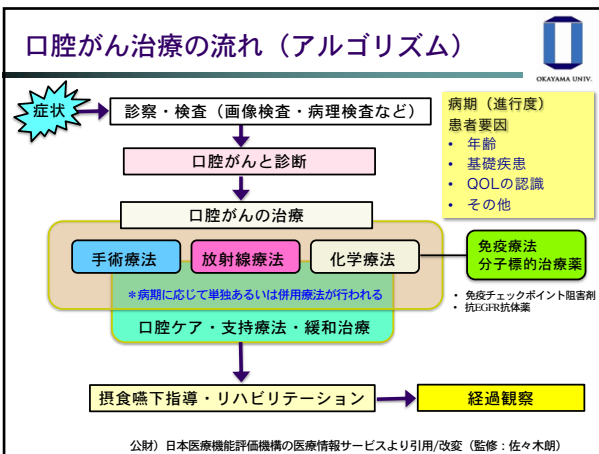
科学的根拠に基づく口腔癌診療ガイドライン

日本口腔腫瘍学会：口腔癌治療ガイドライン作成ワーキンググループ
日本口腔外科学会：口腔癌診療ガイドライン策定委員会



内 容	
第2章	疫学
第3章	診断
	臨床診断
	画像診断
	病理診断
第4章	原発巣の治療
	外科療法
	放射線療法
	化学放射線療法
第5章	頸部転移巣の治療
第6章	術前・術後の補助療法
第7章	口腔ケアとリハビリテーション
第8章	治療後の経過観察
第9章	再発巣の治療
第10章	緩和医療

改訂版2013年5月発刊 現在改訂作業中



早期舌癌と進行舌癌の違い

症例提示

早期舌癌 舌部分切除 会話・摂食障害なし

症例提示

進行舌癌 舌亜全摘・頸部郭清術・会話・摂食リハビリ
腹直筋による舌の再建

早期舌がんの切除の流れ（T1N0M0）

症例提示

セシウム針による舌癌の小線源治療

症例提示

セシウム針による舌癌の小線源治療

OKAYAMA UNIV.

症例提示

治療法別原発巣再発・頸部後発リンパ節転移の有無および疾患特異的累積生存率

OKAYAMA UNIV.

症例数	原発巣再発		頸部後発リンパ節転移		疾患特異的累積生存率			Logrank test p値	
	あり	なし	あり	なし	1年	3年	5年		
手術単独群	75	2	73	10	65	98.6	91.5	84.1	N.S. (0.1134)
術前化学療法群	39	7	32	5	34	89.5	84.1	84.1	
術前化学放射線療法群	8	1	7	1	7	100	87.5	87.5	
密封小線源放射線療法群	14	6	8	3	11	92.9	70.1	70.1	
化学放射線療法群	8	2	6	1	7	100	66.7	66.7	

ICでは、患者に治療法を提示する。希望を優先させるが、有害事象(放射線障害)や再発治療に制限がでるために、機能障害や審美障害を引き起こしやすい場所でのみに行っている。

進行舌癌の外科手術 (82歳, 女性)

OKAYAMA UNIV.



平成27年4月、舌の痛み上記を自覚し近医歯科を受診した。
平成27年5月、某総合病院歯科を受診し、同院から紹介で、当科受診。

肩甲骨筋上頸部郭清術
舌半側切除、大胸筋皮弁(有茎)による再建手術・気管切開術

症例提示

高度進行舌癌の外科治療 (腹直筋による舌再建術)

OKAYAMA UNIV.

症例提示

術後のリハビリテーション (VE検査)

OKAYAMA UNIV.

VE検査: Video Endoscopic examination of swallowing



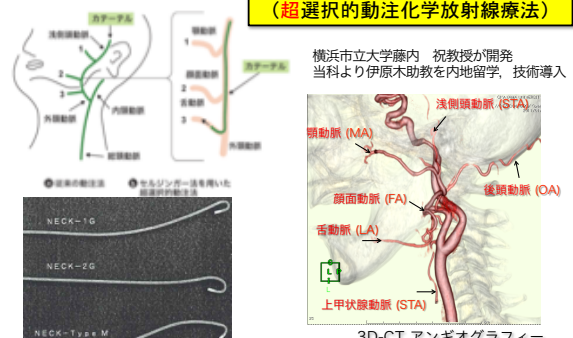
検査の実際

内視鏡器機 摂食・嚥下チーム

切除困難な進行口腔癌の治療

OKAYAMA UNIV.

(超選択的動注化学放射線療法)



横浜市立大学藤内 祝教授が開発
当科より伊原木助教を内地留学、技術導入

3D-CT アンギオグラフィ

超選択的動注化学放射線療法 類粘膜・歯肉・口蓋進展癌


OKAYAMA UNIV.

症例提示

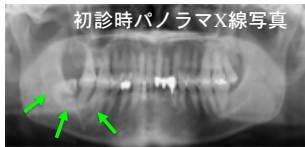
骨髄組織による骨再建

PCBM : particular cancellous bone marrow
骨髄細胞


右側下顎骨区域切除術,
プレート再建 (T4N1M0)
頸部郭清術



初診時口腔内写真



初診時パノラマX線写真



パノラマX線写真

顎骨再建・インプラントによる咬合再建

OKAYAMA UNIV.

3DプリンターでCTデータより切除部の顎を作製し、オリジナルメッシュプレートを作製




骨欠損



腸骨から海綿骨を採取



チタンメッシュカスタムトレー固定後に海綿骨を填入

顎骨再建・インプラントによる咬合再建

OKAYAMA UNIV.

症例提示

講演の内容

OKAYAMA UNIV.

1. 口腔がんについて
2. 地域（岡山県）の口腔がんの実態
3. 当科の口腔がんの症例
4. 岡山県内の連携病院及び連携の状況
 - 口腔がんの早期発見を目指して —
 - 1. イベント検診
 - 2. 岡山市歯科医師会口腔がん検診研修会
 - 3. 岡山大学病院への紹介

症例：他科で歯が原因といわれたが・・・

OKAYAMA UNIV.

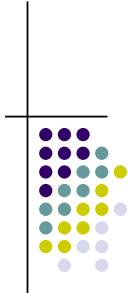
症例提示

症例：口底がんが見つかなかった・・・

他の病気で歯科で治療を受けていた・・・

症例提示


早期がんの診断



岡山県内の連携病院及び連携の状況

— 口腔がんの早期発見を目指して —

1. イベント検診
2. 岡山市歯科医師会口腔がん検診研修会
3. 岡山大学病院への紹介



イベント検診への参加（住民の啓発に有用）

検診風景

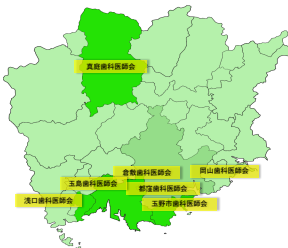


検診風景

岡山県歯科医師会各支部における口腔がん検診

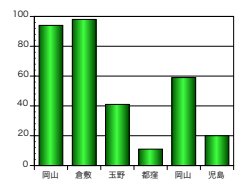
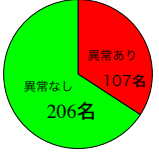
岡山大学病院口腔外科（再建系・病態系） イベント検診

- 岡山歯科医師会 H17年度（中断）
- 倉敷歯科医師会 H18年度～
- 児島歯科医師会 H18年度（中断）
- 玉野歯科医師会 H18年度～
- 都窪歯科医師会 H18年度～
- 玉島歯科医師会 H22年度？
- 真庭歯科医師会 H23年度～
- 浅口歯科医師会 H26年度～



岡山・倉敷・玉島・児島、複数の大学同窓会では講演会

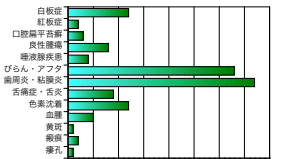
口腔がん検診（イベント検診） 1～6回

323名

異常なし 206名
異常あり 107名

水川ら：岡山歯誌26, 2007



岡山市歯科医師会の口腔がん検診研修会

- 市民の口腔の健康管理を担う歯科医師にとって口腔癌の早期発見は責務である。
- イベント検診からスタート
 - 県内の各支部に働きかけ、講演会や説明を行ってきた
岡山市支部、倉敷支部、真庭支部、玉島支部、都窪支部、その他

↓

2012年に岡山市歯科医師会で講演会

↓

2回の予備研修

↓

岡山大学病院口腔がん専門外来主催
口腔がん検診研修会（2日間コース）

現在は7回目

岡山市歯科医師会の口腔がん検診研修会

実習風景 講義

実習風景 触診法、細胞診の実習を行った

口腔がん検診の方法

- 肉眼診断（視覚的）80%以上の診断 ← 最も重要
- Brushing biopsy(細胞診)
- 生体染色（ヨード染色・トルイジンブルー染色）
- 蛍光診断 見えないものを見る

↓

症例提示

- 病理組織学的診断(確定診断)
- ヨードグリセリン液
- 2%ルゴール液

